



岡崎図書館交流センターLibra ホールイベント

お通ワンダーランド 浄瑠璃姫物語公演の併設企画

浄瑠璃姫物語/紙芝居ライブ

現代編

平安末期の悲恋の物語をかくもモダンにスタイリッシュに!



●出演者

Duo ゴジウ〜

(村主まゆMI・村岡千佳)

ユカ(イラスト)



村岡千佳 村主まゆMI

2つの浄瑠璃姫物語

現代編

未来編

日時: 2024年 **8月18日**(日)

時間: 14時30分開場 15時開演 料金: 3,000円(中学生以下2,000円)

場所: 岡崎図書館交流センターLibraホール 主催: 「愛知の伝統文化を愛好する会」

珍説 浄瑠璃姫物語 チンギス・ハーンの降臨

未来編

「義経も浄瑠璃姫も生きていた!」モンゴル高原での壮大な大河ストーリー

●出演者

奥村俊彦 小野浩輝

NOISECONCRETE(Ono)

立山こずえ ミスターJ

佐藤シゲル 野々山玲子

Blacky 小松バラバラ

サイン加藤 今井祐子

可児清 月姫うさぎ

高野まさ タナカえん

Emi



源義経

チンギスハーン

「源義経=チンギス・ハーン」シーボルト学説より

劇中にインプロ劇が挿入
(宮沢賢治: インドラの網)



富田勲さんに捧ぐ



蒼き狼(CD)

岡崎出身の富田勲氏は、NHKスペシャル「大モンゴル」のオリジナルアルバムを制作しました。富田さんをリスペクトして、電子音楽家が3人共演します。

このイベントは、今年の10月12日(土)に岡崎の二の丸 能楽堂で開催される「新説 浄瑠璃姫物語【続】／小野お通・鳳来寺伝」の併設企画として設けられたものです。能楽堂の浄瑠璃公演は、室町時代から語り継がれるもので、これを古典とするならば、この物語を今風のスタイル(ジャズピアノと語り)で楽しむ「現代編」と浄瑠璃姫物語を未来のSFの視点からとらえた「未来編」という「浄瑠璃姫物語の3部作」として創作しました。この試みは、10月の能楽堂浄瑠璃公演を盛り上げて成功させようという願いはありますが、単に興行的な目的ではなく、「岡崎の浄瑠璃の発祥とされる**原点の浄瑠璃姫物語の認知普及**を全国にまで届かせるようにしたい」という気持ちが含まれております。本企画の主催である「愛知の伝統文化を愛好する会」は、「日本の伝統の素晴らしさを楽しみ・学ぶ場所」の名前を「お通ワンダーランド」として、岡崎図書館交流プラザLibreを拠点として、イベント以外にワークショップやセミナー、お茶会など、さまざまな企画を展開いたします。

現代編

浄瑠璃姫物語

紙芝居ライブ

脚本アレンジ：
 慈性通修／村岡千佳



村主まゆ MI
 (ピアノ)



村岡千佳
 (語り&謡)



ユカ
 (イラスト)



高野まさ
 (語り&雅楽)



Emi
 (パフォーマンス)



月姫うさぎ
 (パフォーマンス)



タナカえん
 (パフォーマンス)

未来編

珍説 **浄瑠璃姫物語**

チンギス・ハーン
 の降臨
 脚本：慈性通修



奥村俊彦/ゲスト
 (ピアノ)



サイン加藤
 (義経・ハーン)



今井祐子
 (姫・クラン)



Blacky
 (語り&ボイス)



小松バラバラ
 (即興発声)



佐藤シゲル
 (ベース)



可児清
 (サククス)



立山こずえ
 (フィドル)



野々山玲子
 (ドラム)



小野浩輝
 (エレクトロニクス)



NOISECONCRETE
 (Junji Ono)
 (エレクトロニクス)



ミスターJ
 (エレクトロニクス)

浄瑠璃姫物語

紙芝居ライブ

DUO ゴジウ〜により、浄瑠璃姫物語が、現代のピアノアレンジと語りと謡で演じられます。

ピアノ演奏は、時にクラシカルに、時にジャズの調べで演じられて、この平安末期の悲恋物語が、モダンにスタイリッシュに生まれ変わります。 語りの方も浄瑠璃姫が憑依したかのように、厚い心で語られる姿に、偶に観客の人たちがハンカチで涙をふく姿も見受けられます。時に謡を交えて和歌も披露されますが、この独特な調べは、私たちが平安の優雅な雅の世界へと導いてくれます。紙芝居ライブとしましたのは、紙芝居の歴史も非常に古く、昨年より、イラスト作家のユカさんの協力で行っていますが、今回は、浄瑠璃姫物語のストーリー絵画が紙芝居のように舞台上に投影されて、ホール紙芝居ライブとして、スケールアップして行われます。

珍説 **浄瑠璃姫物語**

チンギス・ハーン
 の降臨

この物語に関して、珍説とするのは、現代の歴史では義経は平泉で亡くなったとされておりますが、彼は死んでおらず、モンゴルの地に赴いてチンギス・ハーンとなり、大モンゴル帝国の長となったという学説があります。この学説に乗って、浄瑠璃姫も自害していない話に創り変え、単なる義経の女道楽の話ではなく、義経の女性への懺悔と改心と本当の愛の話へと展化させました。壮大なモンゴル高原の地で、繰り広げられるロマンスの舞台を音楽とパフォーマンスと語りと唄で繰り広げていきます。舞台の背景には、広大なイメージが場面ごとに投影され、舞台音楽としては、多ジャンルの音楽家たちの参加協力や岡崎出身の富田勲さん(中期にチンギス・ハーンをテーマにして「蒼き狼の伝説」を作曲)へのリスペクトもあり、三人のエレクトロニクス音楽家も参加します。さらに、この舞台をより想像的なものにしたく、義経のチンギス・ハーン物語とは別の話がインプロ劇(宮沢賢治のインドラの網)として、浄瑠璃姫物語の中に挿入されます。インドラの網にも高原が登場しますが、それはモンゴル高原かも? 観客の皆様は、モンゴルの壮大なドラマと実験劇で自由に広がるイメージの世界をお楽しみください。

●アクセス

岡崎図書館交流プラザ Libre
 岡崎市康生通西4丁目7-1



●チケットの購入・予約取り置き

※購入はカードかコンビニ払
 予約は当日の受付にて支払



●お問い合わせ

